



田母神俊雄を応援する会 発起人

(順不同・敬称略)

頭山興助	菅沼光弘	デヴィスカルノ	西村真悟	中山成彬	加瀬英明	吉田嘉明	元谷外志雄
田中直子	松山昭彦	高崎康裕	高山正之	鈴木隆一	森勝彦	高野育郎	田代充
倉山満	呉亮錫	井上政典	関文彦	平阪征夫	宮崎正弘	宝田修一	呉善花
小林興起	阿羅健一	本多由美子	山下英次	岡本幸治	石橋良三	田中英道	北岡正敏
具志堅茂	安藤和典	三宅秀一郎	村田春樹	谷田吉暢	林慎平	上野一夫	高橋奨
白石武之	北岡俊明	宇田川雄弘	茂木弘道	大國義弘	中村五郎	新谷幸義	寒竹郁夫
太田幸雄	池下幸史	柴崎チヨ子	國分晴夫	高松秀太	寺田信男	野崎豊	稲 寿
福田邦宏	園田映人	大山三起雄	野田耕平	犬伏秀一	上森一利	岡村崇	戌亥宗和
長友潔	横井基至	荒井美智子	中村浜一	坂田英明	藤田裕行	奥茂治	高池勝彦
中沢芳章	黒坂秀信	大倉野忠幸	濱野晃吉	小山和伸	岩本賢一	堀江博	上野淳次
菅谷敦人	保口廣幸	桑木野義郎	塚本眞一	河本眞孝	田口幸一	宮坂寛	朝雲学人
滝田一人	中嶋文雄	南出喜久治	田中正道	澤秀一郎	新城恵介	守屋円	高橋憲行
八木康洋	白藤達雄	岩井美喜夫	石井秀房	上野四郎	永嶋直之	稲葉敏	岸野洋二
橋本政和	八塚国夫	遠藤健太郎	阿形充規	大平光洋	木村三浩	徳沢清	田中一八
岡野俊昭	清水重子	等々力孝一	長村康博	加藤欣一	河辺圭佑	水間純	手塚眞
伊藤純子	高木美香	菅谷美恵子	河野道博	平岡幹雄	稲葉久江	古場悟	菅谷和夫
鈴木辰也	佐藤節子	高松八重子	岡田隆志	渡瀬裕哉	佐藤哲造	松木崇	枅田恭典
吉崎貴博	工藤芳貴	大平善一郎	平野忠彦	秋山啓市	加持孝啓	関谷隆	古馬一行
久米哲次	稲葉由樹	中川幸右基	小泉浩一	柘植宗尚	佐藤駿一	菊池清	芳賀幸雄
松村洋一	山井学	山井乃里子	谷中信夫	増田洋美	竹下洋史	寺原聖	樫村弘道
佐藤杜英	菅原和男	佐久間広仲	船橋健一	樋口朋幸	沼山光洋	大戸隆	上野光三
鈴木修一	堀江恵一	和賀井貴之	江田淑子	柚山芳樹	上出雅彦	龍岡豊	堀江賢治
川田延之	佐藤絹代	長谷川ゆう子	樋口敏郎	牧村健志	伊藤龍雄	梅乃結	安田永一
清水文雄	松本哲弘	橋本磨西子	安藤佳史	野口高行	柴藤泰輔	近藤建	小嶋吉浩
黒崎忠彦	村田充男	牛島洋太郎	豊森康弘	永田正徳	馬場雄二	齋藤敦	植松裕太
清水賢一	加藤尚道	関根正寿	松木國俊	鶴池栄五	網谷郁子	和田緑	杉山繁夫
中島啓介	川口雅夫	松本千恵美				村井巧	原日本

発起人代表 福沢峰洋

発起人214名 他7名 発起人総数 221名

田母神俊雄を応援する会 開催趣旨 平成29年7月22日土曜日

「田母神俊雄を応援する会」懇親会の特別開催について。7月22日に有志が集い田母神俊雄の再始動を内外に周知することは、この今だからこそ重要と考えております。同日は田母神俊雄の誕生日でもあります。田母神俊雄は公職選挙法違反（運動員買収）容疑で5ヵ月半(169日間)もの長期間、東京拘置所に勾留されました。身に覚えのない罪で逮捕及び起訴され、言論活動停止を余儀なくされました。未だ裁判は継続中ですが、身の潔白を晴らすために法廷での戦いを続けている田母神俊雄を「このまま他人事にしておいてはいけない」と、有志が立ちあがりました。日本に真の保守の潮流を作り上げるために今後とも田母神俊雄に活躍してもらわなくてはならないと思います。

自虐史観の日本の将来を憂えて、航空幕僚長の現役生命を賭けて「田母神論文」を公表したことを考えてみましょう。もしも私たちが田母神俊雄の立場ならば、同じように一貫して「日本は良い国だった」ことを主張し続け、言論の自由と対峙し、国会証人喚問を受け、国家権力からの圧力にも屈しないでいられたのか。今一度、真剣に考えてみる価値はあると思います。田母神俊雄が再始動することは、志を継ぐ後継者を育てる環境をこの国に創ることに貢献することになります。今の時代に生きている私たちの責務であると考えています。